

**2007 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 スーパーバイクレース in もてぎ**

2007 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP ROUND1

# SUPERBIKE

**2007**
**3/31**
**予選**
**SAT.**
**決勝**  
**4/1 SUN.**
**Race in MOTEGI**
**ツインリンクもてぎ ロードコース**  
**1周 4,801.379m**

- 開催クラス：JSB1000 / ST600 / GP250 / GP125 / GP-MONO
- 主催：エムオースポーツクラブ(M. O. S. C.) / 株式会社モビリティランド
- 公認：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 後援：文部科学省 / 茂木町

## JSB1000 鈴鹿サーキット、ツインリンクもてぎでテスト実施 ノリック阿部、安田毅史、横江竜司、酒井大作の気になる動向



ノリックこと阿部典史

3月4日(日)、モータースポーツシーズン到来を告げる一大イベント、モータースポーツファン感謝デーが鈴鹿サーキットで開催されたが、その翌日には、主要チームが鈴鹿サーキットで走行テストを実施。そしてこれを契機に、一気にテストが活発化。3月6日(火)からは、舞台を開幕戦の行なわれるツインリンクもてぎに移して各チームのテストがスタート。TEAM GREENの柳川明はAMA(アメリカ)スーパーバイク開幕戦出場のために欠席となったが、チャンピオン獲得の可能性を秘めたライダーたちが一堂に顔を揃えた。

晴天、さらに暖冬の影響も手伝って、3月上旬としては良好なコースコンディションとなったテストウイーク。ここで、やはり注目を集めたのが移籍・コンバート組であり、中でもノリックこと阿部典史が群を抜く存在感を示した。

阿部にとって、ツインリンクもてぎでの闘いは04年の日本GP以来となるが、JSB1000マシンを走らせるのは今回が初めてだ。テストでは、マシンチェックとタイヤテストのために走り込みを実施。そしてテスト終了後には「いいタイヤが見つかった」と、開幕ウインに確かな手応えを掴んでいた。

一方、昨年はST600で連続V2を決めて、今年からJSB1000にコンバートした安田毅史と、昨年の全日本GP250チャンピオン横江竜司がテストに参加。安田はすでに鈴鹿8耐でJSB1000マシンを体験済みで、しかも06年2位、05年3位という成績を残していることから、ライバルからも熱い視線が投げかけられる。しかし「耐久とスプリントとは乗り方も違うし、乗りこなすのはなかなか難しい」とコメント。また、マシンをシェイクダウンした横江も「すべてが想像以上のポテンシャルで驚いた」とファーストインプレッションを語る。さらに、昨年までのST600から、チームをヨシムラに移籍してJSB1000に出場することになった酒井大作も「パワーが違い過ぎる。安定して速く走らせるには経験も必要」とコメントを残した。まだ、JSB1000マシンのポテンシャルを持って余しているが、いずれも確固たる実力を持ったライダーだけに、開幕戦にはベストな状態に間に合わせてくるはずだ。



安田毅史



横江竜司



酒井大作

## ミック・ドゥーハン氏がツインリンクもてぎにやってくる!



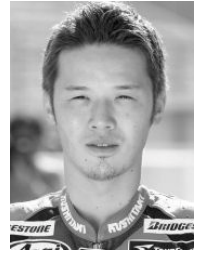
1994年から1998年まで、Hondaのワークスライダーとして世界GPの500ccクラスで5年連続でチャンピオンを獲得した、ミックの愛称で親しまれるマイケル・ドゥーハン氏。そのドゥーハン氏が、4月1日(日)にツインリンクもてぎで開催されるMFJ全日本ロードレース開幕戦を視察することが決定した!!

伊藤真一選手やノリックこと阿部典史選手とは、よきライバルとして世界GPの500ccクラスで競った間柄で、懐かしい再会となる。ツインリンクもてぎで懐かしいドゥーハン氏の姿を目撃しよう。

## 迎え撃つ継続ベテラン勢 ニューマシンの渡辺篤、中須賀克行が好調な仕上がりをアピール



こうしたライダーを迎え撃つのが、昨年の体制を継続するベテランライダーたちだ。連続V2王者の伊藤真一が、開幕前のテストで転倒・負傷というニュースが飛び込んで来て参戦が危ぶまれているが、昨年ランキング2位の渡辺篤が絶好調だ。渡辺の駆るスズキGSX-R1000は、今年から新型化されたが、従来型でさえ群を抜く速さを示していただけに、ライバルもその動向を注目する。「ベースモデルが自分好みの特性なので、仕上げていけば、もっともっとマシンは良くなる」と、渡辺は2002年の全日本スーパーバイク以来のチャンピオンを狙う。



渡辺篤



中須賀克行

また、このテストで常に好調をアピールしていたのが、ヤマハのトップチームで2年目のシーズンを迎える中須賀克行だ。ヤマハYZF-R1もフルモデル

チェンジを受けたが、これにより「従来のハンドリング特性がより向上して、走行ラインの自由度が増した」と中須賀。テストでは好タイムを連発しており、開幕戦で悲願の初優勝の可能性が高まっている。

そして、AMAスーパーバイクに出場して4位となった柳川明の存在も、開幕戦ではクローズアップされることは間違いない。昨年のこの開幕戦は、突然に降り始めた雨により中断して、結果的に8週の超スプリントレースとなったが、ここで優勝を遂げたのが柳川だった。今年、柳川はすでに1レースを消化していることからレースモードに入っており、ライバルを一歩リードした形で開幕戦を迎えることになる。

## HondaワークスのTEAM HRC復活!! この開幕戦からレースはクライマックスだ!!



山口辰也

さて、こうしたライダーの他にも、モリワキMOTULレーシングに移籍した実力者・山口辰也やWINS SUZUKI R.Tから出場の秋吉耕佑、チームOSG&モトスポーツからエントリーとなる出口修も注目度満点だ。いずれも、昨年とはマシンメーカーは変わらないが、チームを移籍しての心機一転。山口は、憧れのチームからの出場となり「例年以上にトレーニングを積んでいるし、万全の体調で開幕戦を迎えられる」と意欲を示せば、「新しいスズキGSX-R1000は、ノーマル状態でも素晴らしいポテンシャルを持っているので、開幕戦が楽しみ」と、秋吉は手応えをアピール。さらに出口も「今年は、タイヤがミシュランになるが、特性を把握して武器にしたい」と、飛躍を誓う。また、「チームの雰囲気がとても良く、自然とやる気になってくる」と語る



手島雄介

今野由寛にも注目だ。今野もDeotex PANTHERAに移籍したが、そのチーム監督は、元世界GP125ライダーの上田昇氏が務めており、百戦錬磨の経験がチームに浸透すれば、手強い存在となる。

そして何より、02年シーズン以来の全日本への復活となるHondaのワークsteam、TEAM HRCが今大会の、そして今シーズンの最大の注目となる。ライダーは、今年からHondaの開発ライダーとなった手島雄介だ。TEAM HRCの全日本復帰は、今年になってから正式決定したといい、手島は「開発ライダーということで、レースには出られないと思っていた。やはり、レースを闘えるのは嬉しいし、楽しみです」と満面の笑み。しかし、テストではもちろん真剣そのもので、闘う集団、そして常勝軍団の一員として、早くもそのオーラを放ち始めていたのが印象的。



秋吉耕佑

さて、今大会のJSB1000では、予選でノックアウト方式が初採用されることでも話題を集めている。4輪のF1で用いられている方式で、セッションが進むにつれて出走台数が少なくなるというものだ。そして最終セッションでは9台によるタイムアタックとなり、ポールポジションから9番グリッドまでが決定する。まさに各セッションで息詰る白熱したタイムアタック合戦が繰り広げられることになり、3月31日(土)の予選も目が離せないものとなる。

## 同日開催のST600、GP250、GP125、GP-MONOも激戦必至

JSB1000と同様に、激戦が予想されるST600、GP250、GP125、GP-MONOの各クラス。ST600では、元チャンピオンの武田雄一(01年)と小西良輝(03年)が揃って復帰。TEAM GREENでは、ベテラン高橋英倫を起用して、初タイトルに挑む。そして同クラス参戦2年目を迎えて飛躍を誓う佐藤裕児にも注目だ。

GP250とGP125では、両クラスにダブルエントリーする富沢祥也が最大の注目となる。GP250のベテラン宇井陽一、GP125のベテラン菊池寛幸や仲城英幸らに対して、どのような闘いを挑むのか。この富沢は、昨年の全日本GP125チャンピオン中上貴晶に続く、日本期待の若手ライダーの一人だ。また、昨年の日本GP参戦を契機に、その後の世界GPに参戦したGP125の渡辺一馬も、その活躍が注目されている。そして開催2年目を迎えるGP-MONOでは、主要ショップからコンプリートマシンが続々と発売されており、新たな展開となることは間違いない。



## スーパーバイクレース in もてぎ イベント情報！

スーパーバイクレースinもてぎは、イベントも盛りだくさん！あのポップ吉村氏の数々の伝説を振り返る「ワークショップ」の開催、直接ライダーにインタビューする「夢体験 ～インタビューになろう！～」、レースを間近に控えたライダーの生の声が聞ける「ライダートークショー」、レースに花を添えるキャンギャルやツインリンクもてぎエンジェルが登場する「キャンギャルオンステージ」。ほかにもキッズバイクパレード、サーキットクルージング、そして恒例のピットウォークなど、様々なイベントが企画されている。レースもイベントも、スーパーバイクレースinもてぎは楽しさがいっぱい！



ポップ吉村氏(左)と  
吉村不二雄氏

### 吉村不二雄氏

幼少の頃よりポップ吉村氏を見て育ち、メカニックの道に。ポップ吉村氏と共に、国内外のレースに挑戦し続けた。現、ヨシムラジャパン代表取締役社長。



### 森脇南海子氏

現、株式会社モリワキエンジニアリング専務取締役。現在は日本のモータースポーツ普及活動のため精力的に活動中。

### ●ワークショップ●

#### ポップ吉村が教えてくれたこと ～8耐30年の挑戦を振り返って～

日本のモータースポーツ史上に光り輝く伝説の男・ポップ吉村氏の軌跡を振り返りつつ、8耐で強豪ワークsteamに不屈の精神で挑戦し続けるプライベートの歴史を、ポップ吉村氏の家族でもある森脇南海子氏、吉村不二雄氏の2名の講師と共に振り返る。また、参加者と真のコミュニケーションを図ることを目的に、対話形式のスペシャルタイムも設けられる。

■場所: Honda Collection Hall

■日時: 4月1日(日) 13:00～13:50

### ●ライダートークショー●

ライダーの生の声が聞けるチャンス！普段聞けないようなビックリな話題が飛び出すかもしれない。

■場所: グランドスタンドプラザ特設ステージ

■1回目: 4月1日(日)10:45～11:00 阿部典史 亀谷長純

■2回目: 4月1日(日)13:40～13:50 渡辺一馬 富沢祥也 高橋裕紀

※参加選手は変更になる場合があります。ご了承ください。

### ●キャンギャルオンステージ●

参戦チームのキャンペーンガールがステージに大集合！

■場所: グランドスタンドプラザ特設ステージ

■日時: 4月1日(日)15:35～16:00

### ●MFJロードレースアカデミー紹介●

ロードレース選手育成を目的に、財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)がアカデミーに選出した選手(12歳～15歳)を紹介。このスクールでは、レースに必要なルールとしてマナーなど総合的なトレーニングを受ける。

■場所: ロードコース

■日時: 4月1日(日) 12:50ごろ～

### ●サーキットクルージング●

レース終了後のサーキットを、愛車のバイクで、クルージングしよう！クルージングはタンデムもOKだ！

■場所: P7駐車場よりご案内します。

■日時: 4月1日(日)17:20ごろ～(決勝レース終了後開催)

### ●夢体験 ～インタビューになろう！～●

トークショーに出演しているライダーに直接インタビュー！

■場所: グランドスタンドプラザ特設ステージ

■日時: 4月1日(日)13:50～14:00

■受付: 4月1日(日)10:00～12:00 特設ステージ横テントにて受付 先着3名

### ●ピットウォーク●

ライダーやマシン、キャンギャルを間近で見られるチャンス！チームによるファンサービスも予定されている。

■3月31日(土) 12:10～12:55

■4月1日(日) 12:35～13:20

※参加にはピットウォークが必要です。



### ●キッズバイクパレード●



キッズバイクパレードは一般公募で行われる参加型のイベントだ。このパレードの講師は辻本聡氏。関係者やファンに見守られてのパレードは最高の思い出となるだろう。

■4月1日(日)開催

※募集要項など、詳細はツインリンクもてぎ公式ホームページをご覧ください。

※イベントの内容は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※イベントに関するお問い合わせ: ツインリンクもてぎ ☎0285-64-0001(代)

## お得なチケット、好評発売中！

前売観戦券 (税込) 2日間有効	
大人	ファミリー (大人2名+子ども2名+駐車券1台分)
3,200円	7,400円

※前売観戦券・駐車券の販売期間は3月30日(金)までとなります。

当日観戦券 (税込)		
	大人	子ども
3月31日(土)	2,000円	700円
4月1日(日)	4,000円	(2日間有効)

※料金区分 大人=高校生以上 子ども=3歳~中学生

### ●ワンランク上の観戦を...VIPスイート

メインストレートが一望でき、飲み物やお食事でくつろぎながらの観戦も可能なVIPスイート。今回もVIPスイートならではの特典も用意されています。

#### ■VIPスイート特典

- ・バドックバス(2日間有効)
- ・ピットウォーク(2日間有効)
- ・記念品、公式プログラム ・指定駐車券
- ・決勝日のみVIPスイートでのお食事、フリードリンク(11:00~13:00はアルコール含)付き

VIPスイート (税込) 2日間有効・観戦券込	
大人	子ども
18,000円	13,000円

※販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター(電話・窓口)及びツインリンクもてぎオンラインショップのみとなります。

※80枚の限定販売となりますので、完売になり次第、販売を終了させていただきます。

※販売期間は2007年3月25日(日)までとなります。

前売駐車券 (税込) 2日間有効		
4輪・バス	2輪	コースサイド
1,000円	無料★	3,000円

当日駐車券 (税込)			
	4輪・バス	2輪	コースサイド
3月31日(土)	2,000円	500円	4,000円
4月1日(日)	2,000円	500円	

★前売観戦券をお持ちの方は、2輪の駐車料は無料となります。

※コースサイド駐車券にて、ロードコース外周(S字~V字~ヘアピン手前)脇のコースサイド駐車場に駐車出来ます。

※コースサイド駐車場は観戦エリア内となるため、別途観戦券が必要です。

※前売4輪駐車券をお持ちのお客様は、当日、差額にてコースサイド駐車券に変更できます。

※コースサイド駐車券は前売券が完売となった場合、当日券の販売はいたしません。

※コースサイド駐車場は観戦エリア内のため夜間の留め置きは出来ません。ステイエリアはP32となります。また、翌日の入場の際の入場待機場所はP2となります。

### バドックバス (税込) 別途観戦券必要・2日間有効

3,000円

※バドックバスの販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター(窓口・電話)及びツインリンクもてぎオンラインショップ、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e+(イープラス)およびコンビニエンスストアとなります。

※別途観戦券が必要です。

※2,000枚の限定販売となります。また、前売で完売の場合、当日券の販売はいたしません。

### ピットウォーク券 (税込) 別途観戦券必要

3月31日(土) 1,000円

4月1日(日) 1,000円

※ピットウォークの販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター(窓口・電話)及びツインリンクもてぎオンラインショップのみとなります。

※別途観戦券が必要です。

※各日1,500枚の限定販売となります。また、前売で完売の場合、当日券の販売はいたしません。

## チケットのお求めは

■ツインリンクもてぎチケットセンター ☎0285-64-0080

3月30日(金)まで(営業時間10:00~16:30)

※お電話での受付は3月25日(日)までとなります。

■ツインリンクもてぎオンラインショップ <http://www.twinring.jp/onlineshop/>

3月26日(月)9:00まで 24時間受付

- チケットぴあ ●CNプレイガイド ●ローソンチケット ●e+(イープラス)
- ホンダウェルカムプラザ青山 ●ショッピングセンターもてぎ ●道の駅もてぎ もてぎプラザ
- 鈴鹿サーキットチケットセンター ●HOT SPAR茂木ましい店 ●クロスリンク ●関彰商事
- ファミリーマート ●セブンイレブン ●ローソン ●サークルK ●サンクス ●am/pm
- セーブオン

※下記のコンビニエンスストアでは、一部取り扱いのない店舗がございます。

[am/pm、セーブオン]

### チケットぴあ、および提携コンビニエンスストア

■Pコード 観戦券・ファミリー：680-426  
バドックバス：680-427  
駐車券：680-428

### ローソンチケット、およびローソン

■Lコード 30042

■チケットに関するお問い合わせは...ツインリンクもてぎチケットセンター ☎0285-64-0080

なお、詳細はホームページ(<http://www.twinring.jp/ticket/>)をご覧ください。